

## 令和7年度 国立市まち・ひと・しごと創生懇話会 議事要旨

- 1 日 時 : 令和8年1月26日月曜日 18:30~20:00
- 2 場 所 : 市役所本庁舎地下1階 旧食堂跡地
- 3 出席者 : 【出席委員】  
宮崎委員、朝日委員、荒木委員、佐藤委員、中野委員、境原委員  
【欠席委員】  
榎本委員  
【事務局】  
政策経営部長 藤崎、政策経営課長 簗島、  
政策経営課課長補佐 佐藤、政策経営課政策経営係長 林  
政策経営課政策経営係主任 澤井
- 4 傍聴者 : 無し
- 5 議 事 : (1) 委嘱及び自己紹介  
(2) 座長及び副座長の選任  
(3) 国立市第5期基本構想第3次基本計画(原案)について  
(4) 意見交換  
(5) 今後の予定について
- 6 配布資料 : ・資料No.1 国立市まち・ひと・しごと創生懇話会委員名簿  
・資料No.2 国立市まち・ひと・しごと創生懇話会設置要綱  
・資料No.3 第5期基本構想第3次基本計画(原案)  
・資料No.4 令和7年度まち・ひと・しごと創生懇話会議論メモ  
・参考資料No.1 国立市の人口推移  
・参考資料No.2 人口の動き(令和6年中)結果の概要【東京都総務局】  
・参考資料No.3 区市町村、変動要因別人口(総数)【東京都総務局】  
・参考資料No.4 区市町村別人口の推移(昭和31年~令和7年)  
【東京都総務局】
- 7 内 容  
(1) 委嘱及び自己紹介  
○ 副市長より各委員に対して委嘱状の交付を行った。  
○ 各委員より自己紹介を行った。

## (2) 座長及び副座長の選任

- 委員互選により宮崎委員を座長と決定した。
- 副座長は宮崎座長より指名を行い、朝日委員が務めることと決定した。

## (3) 国立市第5期基本構想第3次基本計画（原案）について

事務局から資料No.3に基づき、国立市第5期基本構想第3次基本計画（原案）について、概要説明を行った。同時に、参考資料No.1～4に基づき、国立市及び東京都の人口の動きについて説明を行った。

## (4) 意見交換

事務局にて、ご意見いただきたい事項として以下を示し、委員内で意見交換等を行った。

- ・ 今後、少子高齢化が加速することが見込まれる中、国立市に必要な対策・事業展開等、基本計画の中に盛り込むべき内容について
- ・ その他、まちづくり、子育て、防災、健康づくり等、国立市に求めたいことについて

### 委員

○様々な情報があふれる世の中で、市が発信するシティプロモーションを効果的に受け取ってもらうためには、市民の方と協働しながら情報発信を行うと良い。また、市独自で発信できるシティプロモーションには限りがあるため、市民自らが発信するプロモーションも推進していくことも重要と考える。

### 委員

○行政職員だけでシティプロモーションを行うことも可能であるが、来年度以降は、専門的な会社に委託し、シティプロモーションを行うことを想定している。しかしながら、市民を巻き込んでシティプロモーションを行う視点はなかったため、今後その点を意識してシティプロモーションを実施していく。

### 委員

- 国立市に住んでいる理由は、自分が育った環境で、自身の子どもを育てたいと考えたためである。また、仕事の関係でいろいろな街を見てきたが、国立市が安全かつ自然が多い街であることを再認識しているところである。
- 矢川プラスが完成したが、青柳からだアクセスが悪く、駐車場も完備されていないため、不便さを日々感じている。
- 甲州街道以南の住民は、買い物をする際に、立川市に行くことが多い。また、青柳地域から国立駅方面へいく市内循環バスがあると利便性が増し、子育て世代は助かると思う。

### 委員

○国立市で象徴的なものは、大学があることだと思う。また、大学を基点に、その周りに住宅街が形成され、国立市が発展してきた歴史的経緯がある。

- 国立市は今後、大手企業等特色ある企業を誘致できたら良いと思う。また市内に学生がいることは大きな強みであり、市が彼らを積極的にサポートし、若い世代を育成して欲しい。

#### 事務局

- 今後、国立市では一橋大学等いくつかの大学と連携し、学生と地元企業がマッチングすることを手助けするような事業を実施することを想定している。本事業を実施し、国立市との接点を作ることで、将来的に国立市で生活してもらうためのきっかけになればと思う。

#### 委員

- 多摩信用金庫国立支店に、国立市で創業を目指している方が利用できる、コワーキングスペースを設ける予定となっている。
- 国立市の魅力として、コンパクトな市であり、何かをやろうと行動する人が多い市だと思う。
- 国立市が魅力的だと感じ、移住を考えている人も多くいると思うが、住宅購入価格が高騰しており、手が届きづらい人もいると思う。市として、こういった方々をサポートすることができれば、より魅力的な街として認識され、移住する方も増えると思う。

#### 委員

- 国立市は人口減少の基調ではあるが、高いブランド力を持ち合わせている街である。  
今後の人口動態については、大きな拠点である立川市の影響を受けることが想定される。
- 学生がいることは市として大きな強みである。市として交流人口を増やす施策を実施することで、将来的に国立市で生活することを選択する人も増えると思う。
- 国立市は市域が広くないため、アクセスが悪い場所があることを知り、少し驚いた。  
公共交通とマイクロモビリティ等を組み合わせ、市域全体のアクセスを良くしていければ、市としての魅力が更に向上する。

#### 委員

- 小さな市であるが、南部地域と国立駅周辺を比較すると、南部地域は認知度が低く、盛り上げていく必要があると思う。

#### 委員

- 南部地域の交通網の整備を行うことは重要と思う。本整備を実施することで、市内の回遊性があがってくると思う。
- 空家について、他市ではスタートアップ企業とマッチングを行い、新たなビジネスが生まれた例もあるため、活用を検討していくべきと思う。

#### 委員

- 旧国立駅舎の100周年の記念イベントが来年度に予定されているが、市内向けの広報だけでなく、市外に向けた広報を今後より注力していくべきと思う。
- くにたち市民まつりや天下市は国立駅周辺で実施しているが、同じようなイベントを矢川駅や谷保駅で実施できることができれば、賑わい創出の一助となる。

#### 委員

- 未就学児がいる家族の転入が多い理由として、私立学校の存在が大きいと思う。市内や近隣に私立の学校が複数あり、世帯収入が高い人をターゲットにPRをすることで、市内への転入増を見込むことができると思う。
- 私立学校の説明会を市内で実施することができれば、23区の人が訪れ、移住を考えるきっかけとなり、大きなチャンスになると思う。

#### 委員

- 人口減少局面において、市が重視していくべきことは、市民の健康づくりや自己実現をサポートする等、「人」に投資していくことが今後は重要と考える。

#### (5) 今後の予定について

- 1 議事要旨については要点記録で委員に確認後、市ホームページにて公開予定。
- 2 令和7年度の会議は今回のみとし、次回は令和8年度に開催を予定している。

以上